

# 環境園芸学科 6月

## 夏野菜の管理 6月6日、20日、27日

### 成長に合わせて誘引します



上から、ナス、ピーマン、ミニトマト

愛情を掛けた野菜たちは愛おしいです!!



4月に播種したネギの定植、土寄せ



ミニトマトに雨除けシートを設置、防除（消毒）



親の意見と茄子の花は千に一つも仇はない

子の将来を思っている親の意見は大切なことばかりで、一つとして無駄はない。茄子の花は徒花(あだばな)がほとんどなく、咲けば必ずと言っていいほど実をつける



収穫が始まりました!

- ・ナスの花の雄しべと雌しべの長さの関係を教えて頂き、状態をしてくれる自然の力に不思議を感じました。
- ・ナスの支柱設置を受講し、家でしたやり方が間違っていたことがわかりやり直した。
- ・脇芽取りはどの野菜も見分けが難しく、もっと学ぶ必要があると実感しました。
- ・順調に野菜が成長して、花が咲き、受粉して、実を付けて、少しずつ大きく成長しているのを見ていますと楽しくなります。
- ・“ナスの花に無駄花はない”と聞いていただけ...

ブルーグタイム

甘〜い!



講師からスイカの差し入れ

- ・ナスの手入れがまだよく理解できていないかも? 講義では理解できているつもりでも、実際ナスを手にとると、はて?どこをカットするのか???
- ・ピーマン株を覗くと、びっしり実がなってる。感動でした。我が家のピーマンもこんな風に実ると良いなあ。
- ・野菜づくりは一足飛びにはいかないな...が実感です。

## 羽布ダムとささゆい群生地見学 6月13日

- ・ダムにはいろいろな種類があり役割も異なっていることを初めて知り勉強になりました。
- ・羽布ダムの活用により我々の生活用水、治水管理がされていることを知り、水、電気を利用できることに感謝し、限りある資源を今一度大切に使用すべきと感じました。



羽布ダム管理所の近藤所長



羽布ダム堰堤下からの眺め



発電機（年間発電電力量）  
約320万KWh：一般家庭約900世帯の年間消費量に相当

- ・ささゆりの育成に10年近くもかかるのを根気良く育ててくださっている下山のボランティアの方々には、頭の下がる思い。ぜひぜひ絶やさないよう継続して欲しいと思った。
- ・ささゆりが少なくなっていることは知っていたが、種から開花するまで7年の月日がかかること、動物が食べたり人が採ってしまう事も原因とのこと。保存会の苦勞を知ることが出来て良かった。



ささゆい保存会の安藤会長



散策路から観察